



次代に引き継ぐ国民参加の美しい森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁 東北森林管理局
下北森林管理署

目次

○日本の森林について

- P1 日本の森林について
- P2 木材需要量の推移

○国有林について

- P3 林野庁所管の国有林とは
- P4 国有林の目標
- P5 森林・林業再生に向けた国有林の取組
- P6 森林計画の体系
- P7 森林計画の意義
- P8 森林計画の区域
- P9 地域管理経営計画の
主な内容
- P10 森林計画策定の仕組みと
住民懇談会の位置付け

○下北森林管理署 の事業等について

- P11 下北森林計画区の特徴
- P12 市町村別国有林面積
- P13 森林資源の状況
- P14 公益的機能別施業森林に
ついて
- P15 公益的機能別
施業森林ごとの分布
- P16 計画区の年平均伐採量
- P17 計画区の更新総量
- P18 計画区のおの他の事業量
- P19 管内の保護林
- P20 管内のレクリエーションの森

○管内の特徴的な取り 組みについて

- P21 大畑ヒバ施業実験林
- P22 国民参加の森林づくり

○新計画策定に向けて の当署(署長意見書)の 基本的考え方

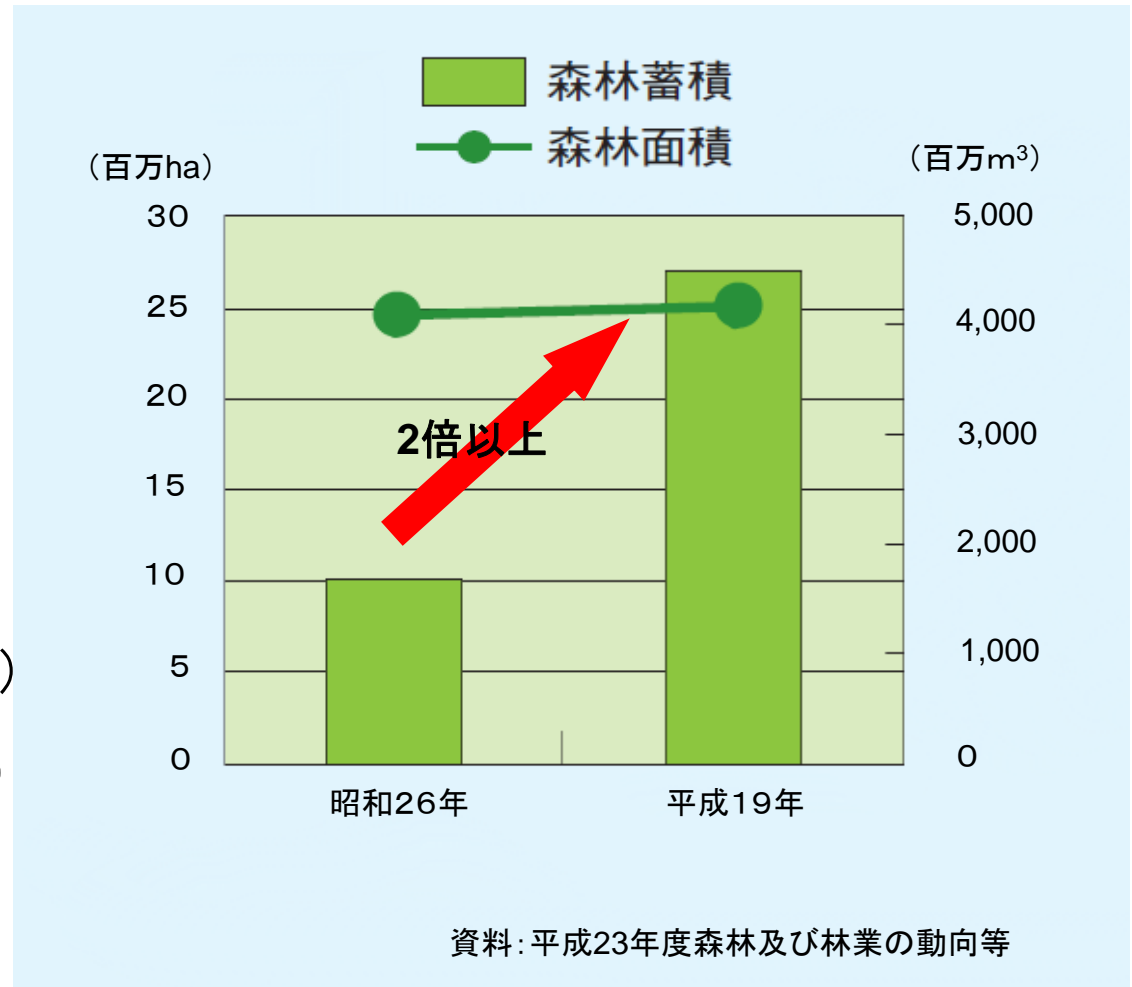
- P23 林業再生という課題の
中での国有林の役割の
発揮
- P22 豊かな自然環境の保全
管理
- P24 山地災害の防止

● 日本の森林について

● 日本の森林
約2,510万ha
 (国土面積の約66%)

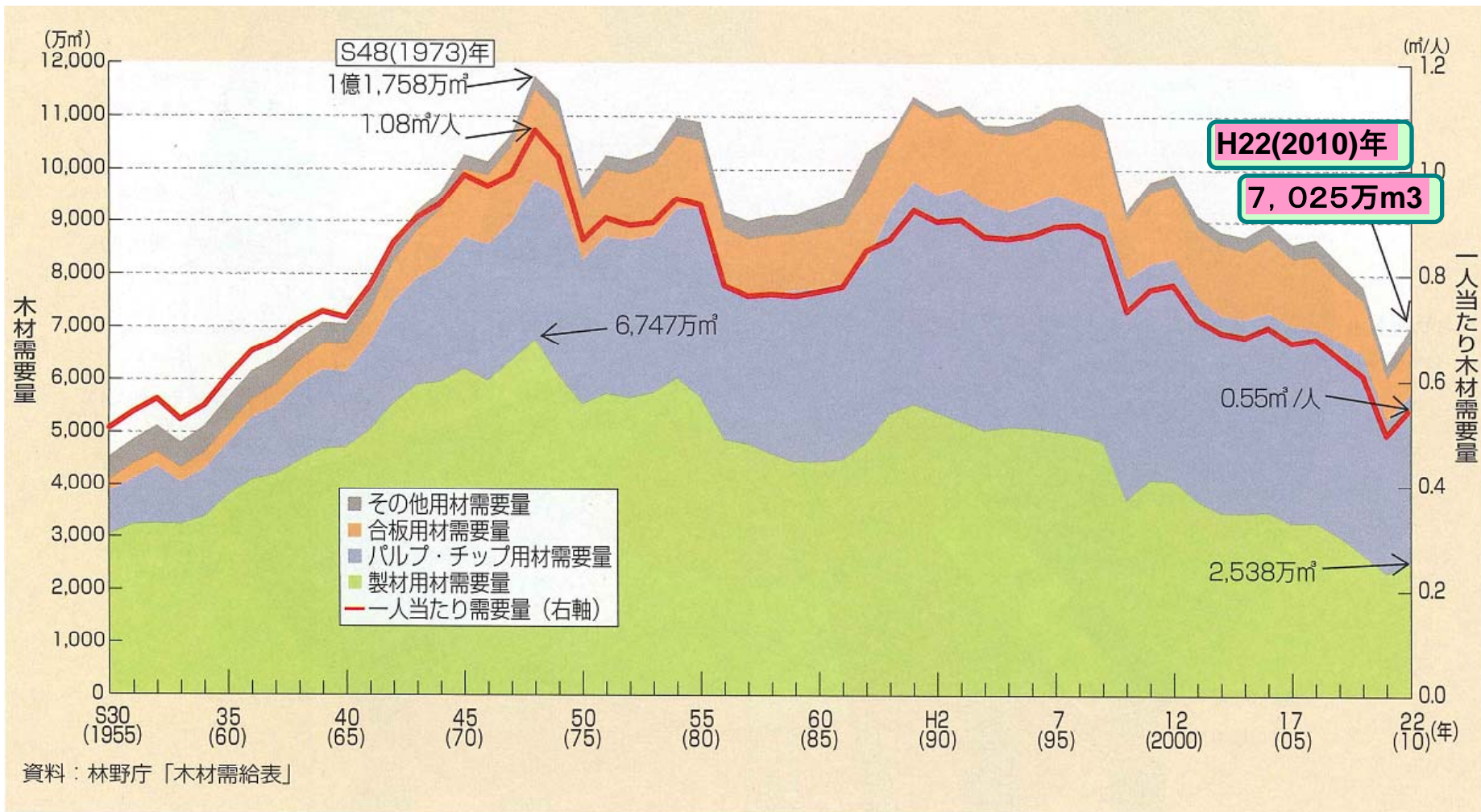
● 民有林
約 1,741万ha (約69%)
 うち 私有林 1,458ha (58%)
 公有林 283ha (11%)

● 国有林
約 769万ha (約31%)



森林資源量の推移

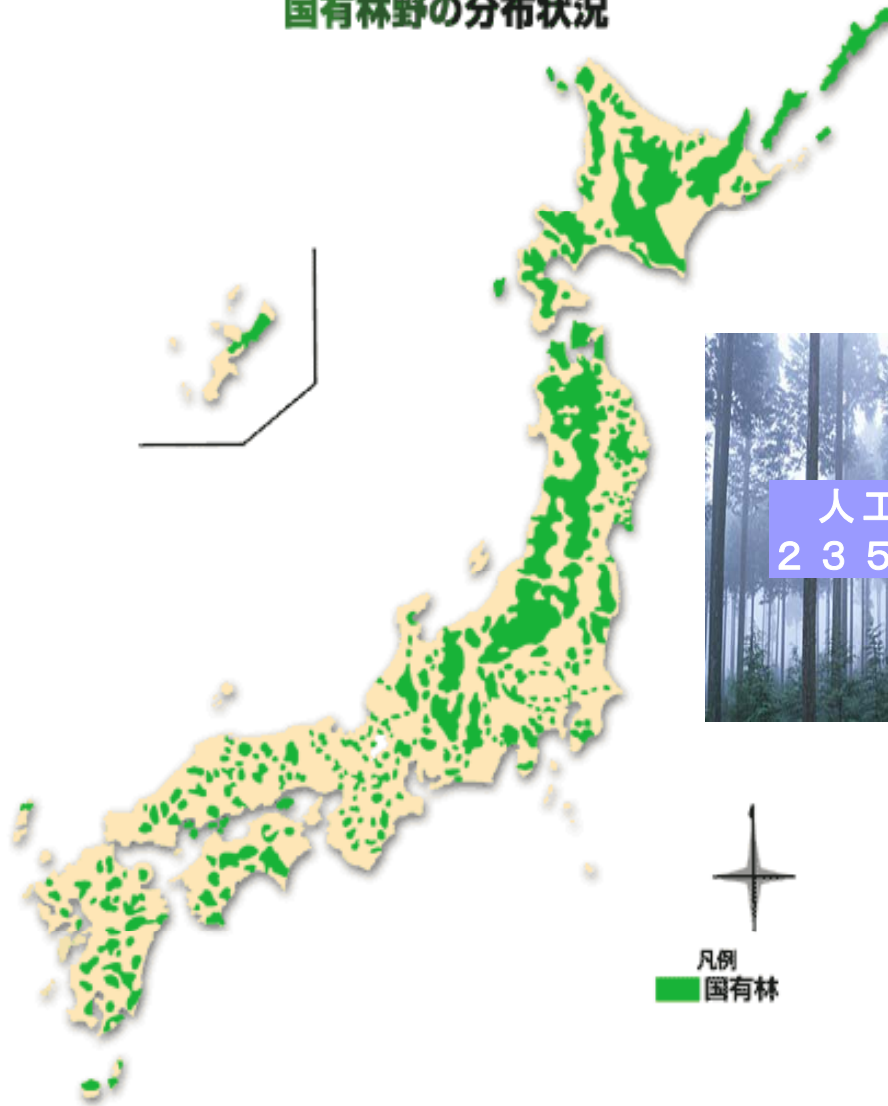
木材需要量の推移



木材需要量の推移

林野庁所管の国有林とは

国有林野の分布状況



林野庁所管国有林(762万ha)の内訳



その他
62万ha



凡例
■ 国有林

● 国有林の目標

● 目 標

1. 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
2. 林産物の持続的かつ計画的な供給
3. 国有林野の活用による地域の産業の振興または住民の福祉の向上への寄与

目標達成のため

基本方針に即した管理経営

1. **公益的機能の維持増進を旨とした管理経営**
2. **森林の流域管理システムの下での管理経営**
3. **国民の森林としての管理経営**

森林・林業再生に向けた国有林の取組

- ◆ 公益重視の管理経営を一層推進
- ◆ 組織・技術力・資源を活用して、林業技術の開発普及、人材育成など
民有林への指導やサポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献

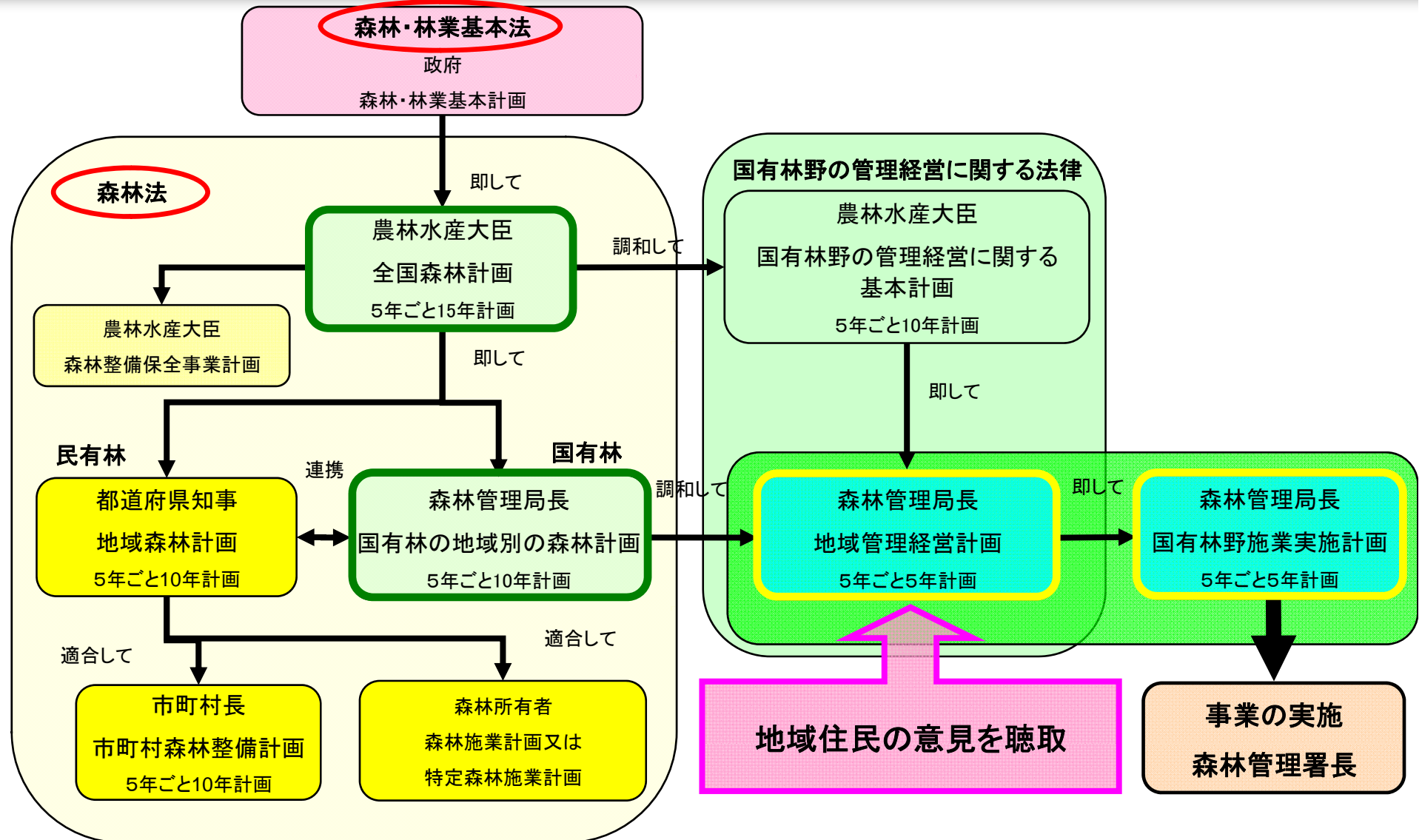
具体的な取組

- 広範に低コスト作業を確立する条件整備
 - 民有林と一体となって効率的な路網整備や間伐等の森林整備を推進
- 担い手となる林業事業体の育成
 - 事業の発注や事業体の人材育成のためのフィールドの提供等を通じて事業体の育成に貢献
- 人材育成
 - 局内の技術者等を准フォレスターとして活用し、市町村森林整備計画の策定をバックアップ
 - 多様な立地を活かした研修フィールドや技術を提供
- 国産材の効率的な加工・流通体制づくりと木材利用の拡大
 - セーフティネットとしての機能や民有林と連携原木の安定供給 等



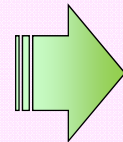
低コスト作業システム現地検討会
(列状間伐、森林作業道作設等の検討)

森林計画の体系



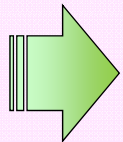
● 森林計画の意義

無秩序な
森林の開発



森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因

無計画な伐採



森林資源を減少させ、林産物供給の面でも大きな混乱をきたすおそれ

森林の造成には超長期の年月を要する
国民経済に大きな影響



長期的な視点に立った
計画的かつ適切な森林の取扱いを
推進することが必要

森林計画の区域

●森林計画区域の設定

農林水産大臣が
都道府県知事の意見を聞き、
地勢その他の条件を勘案し、
主として流域別に都道府県の
区域を分けて定めている

全国で158森林計画区を設定

うち東北森林管理局管内に
17森林計画区

東北森林管理局管内【17計画区】



● 地域管理経営計画の主な内容

I 管理経営に関する基本的な事項

1. 基本方針(持続可能な森林経営の実施方向 等)
2. 機能類型に応じた管理経営(地区ごとの機能類型の方向 等)
3. 流域管理システムの推進(民国一体となった取組 等)
4. 主要事業量(伐採総量、更新総量 等)
5. その他(地球温暖化防止、生物多様性の保全 等)

II 国有林野の維持及び保存

1. 巡視(境界の保全管理 等)
2. 森林病虫害の防除(松くい虫、ナラ枯れ対策 等)
3. 森林の保護(保護林、緑の回廊 等)
4. その他(希少な野生動植物の保護 等)

III 林産物の供給(木材の安定的な供給 等)

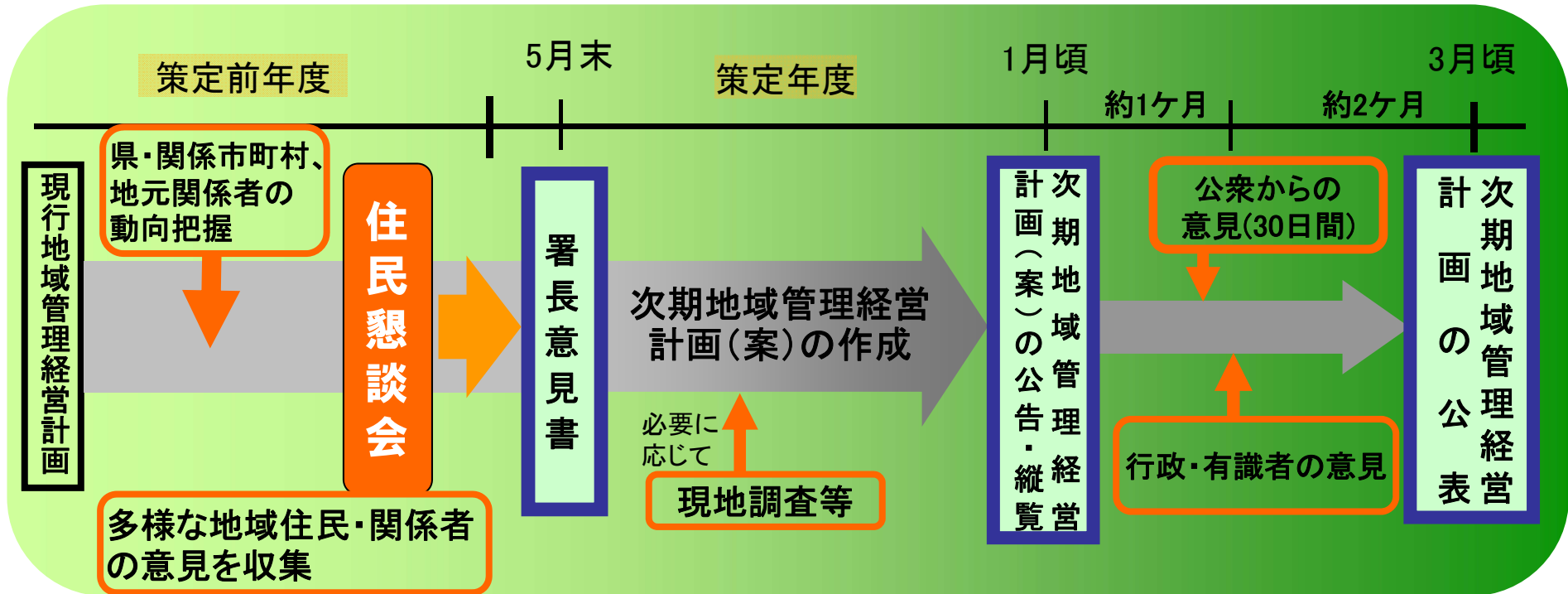
IV 国有林野の活用

V 国民参加による森林整備(森林環境教育の推進 等)

VI その他(林業技術の指導及び普及、地域振興 等)

● 森林計画策定の仕組みと住民懇談会の位置付け

● 地域管理経営計画等策定のプロセス



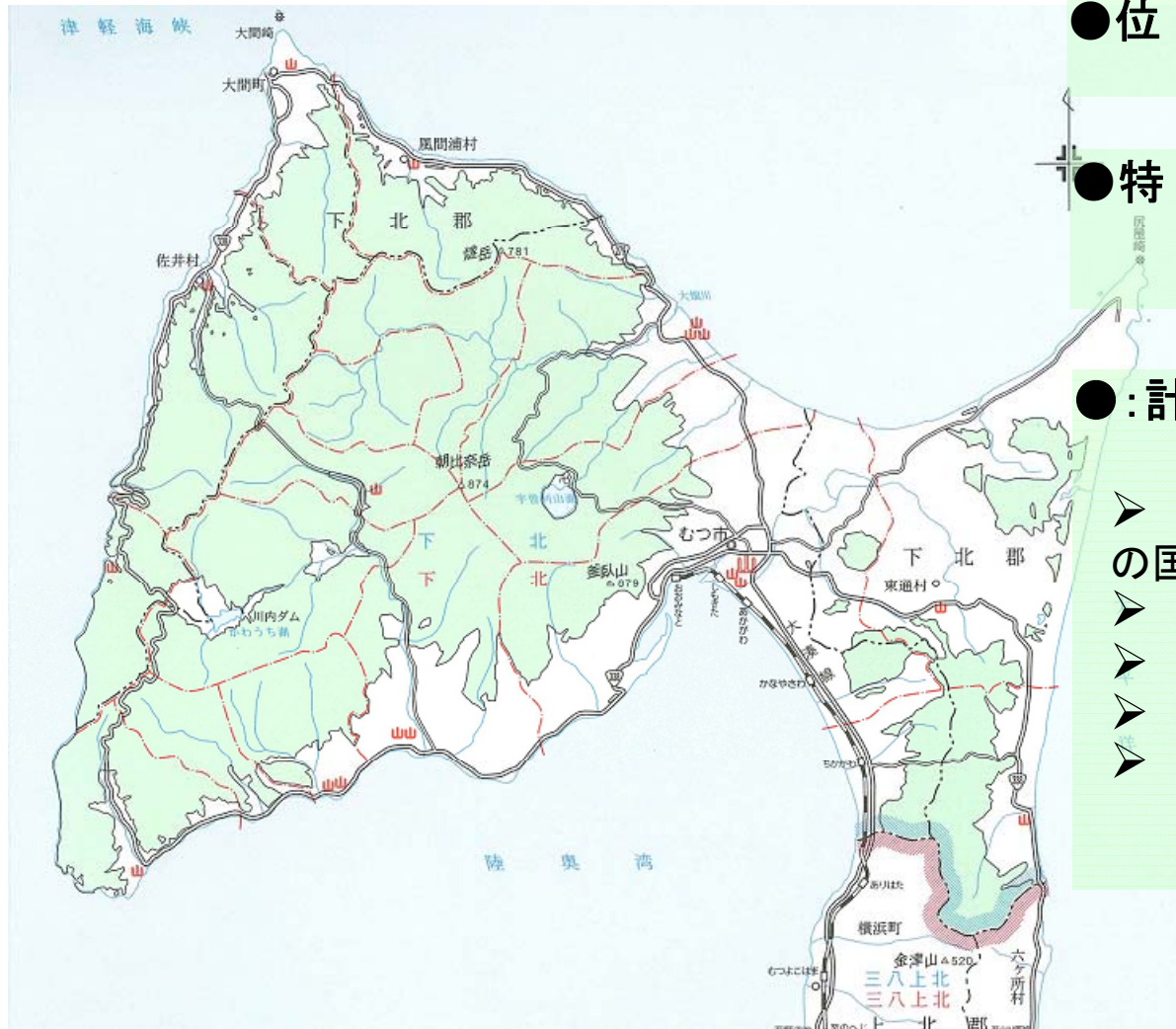
* 国有林野施業実施計画も同じ

● 住民懇談会の位置付け

地域管理経営計画等の計画策定手続き前に多様な関係者が一堂に会する場を設定

- ◆ さまざまな地域情報
- ◆ 多様な地域住民・関係者の意見を収集・反映

● 下北森林計画区の特徴



● 位置: 下北半島全域

● 特徴: 山岳部は国内でも有数の
針広混交天然林地帯

● : 計画区内の国有林

- 下北半島全域に所在する約8万7千haの国有林
- 人工林率36% (スギが多い)
- 豊富な観光資源・貴重な自然
- 民家の直近に国有林
- 86%が保安林

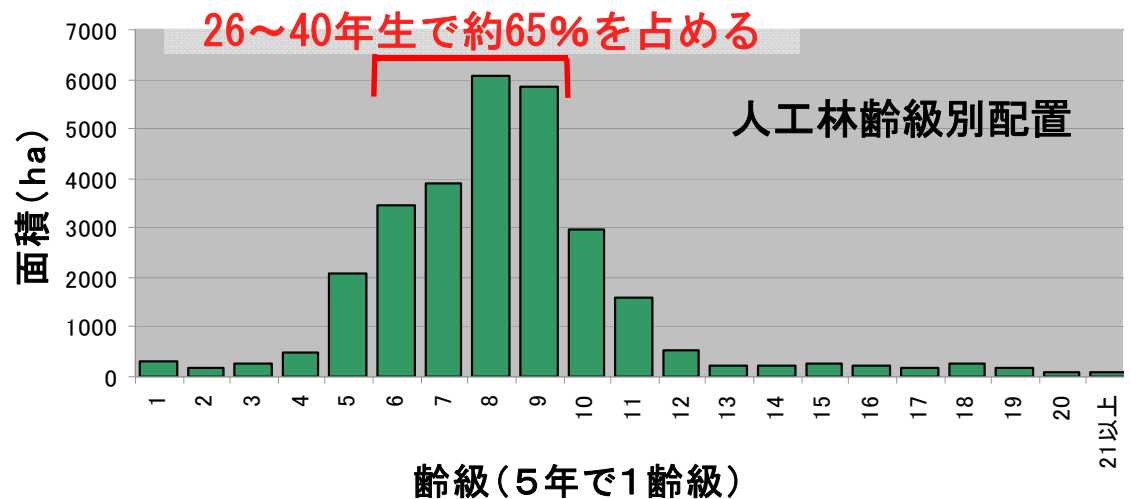
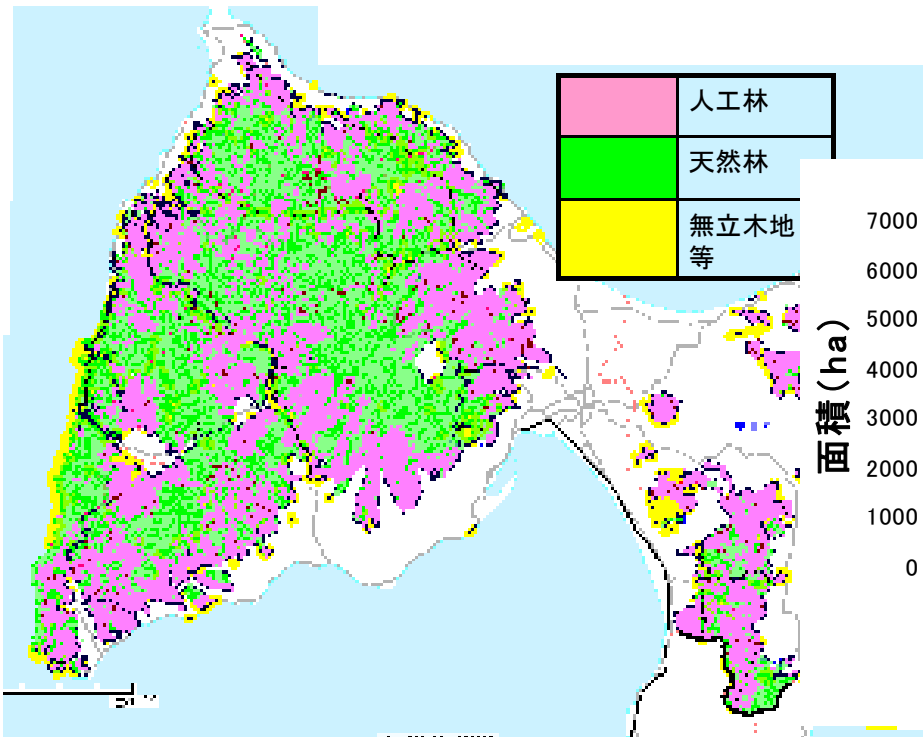
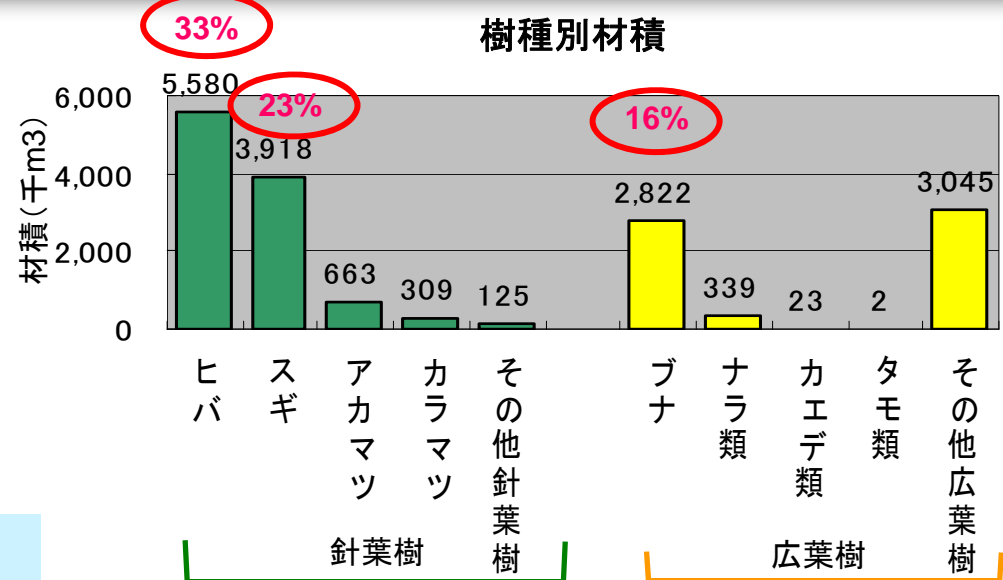
市町村別国有林面積

市町名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率(%)	国有林率(%)
むつ市	86,379	74,186	59,247	86	80
大間町	5,206	3,882	3,287	75	84
東通村	29,439	21,894	7,819	74	36
風間浦村	6,960	6,531	5,195	94	80
佐井村	13,503	12,501	11,666	93	93
計	141,487	118,994	87,214	84	73
(参考)青森県	964,454	635,748	353,443	66	56
(参考)全国	3,779万	2,510万	769万	66	31

森林資源の状況

計画期間 平成21年4月1日
平成26年3月31日

区分		面積 (ha)	材積 (千m ³)
林地	人工林	30,125	5,560
	天然林	52,673	11,265
	竹林	-	-
	無立木地	443	0
	計	83,241	16,825



● 公益的機能別施業森林について

＜公益的機能別施業森林＞

水源涵養機能維持増進森林

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い土壌を有する森林であって、必要に応じて施設等が整備されている森林。

山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林

下層植生とともに樹木の根が深く広く発達した土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて施設が整備されている森林。

保健・文化機能維持増進森林

自然とのふれあいの場としての管理がされ、多様な樹種等からなる、住民等の憩いと学びの場、自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて施設が整備されている森林。

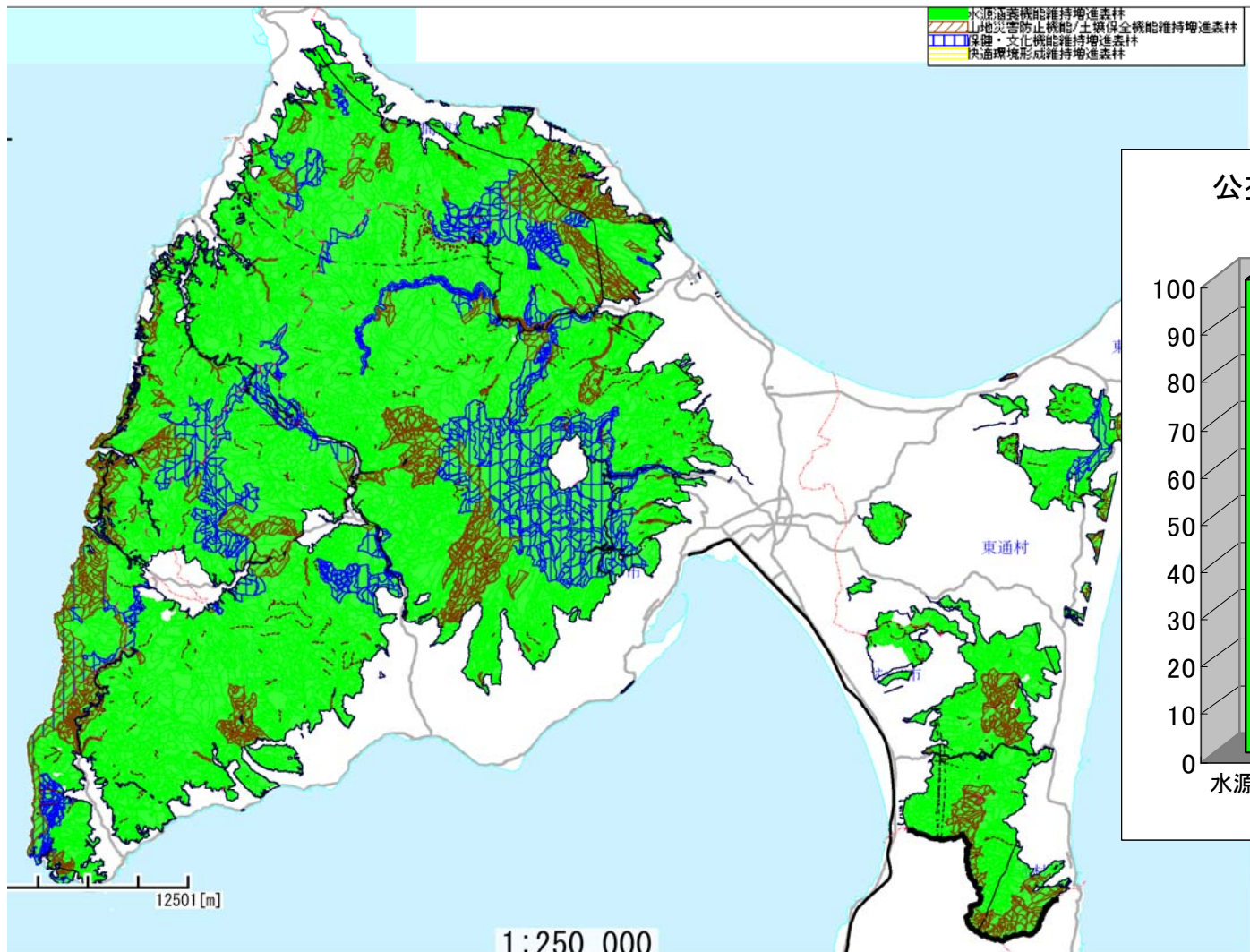
快適環境形成機能維持増進森林

樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林であって、必要に応じて施設が整備されている森林。

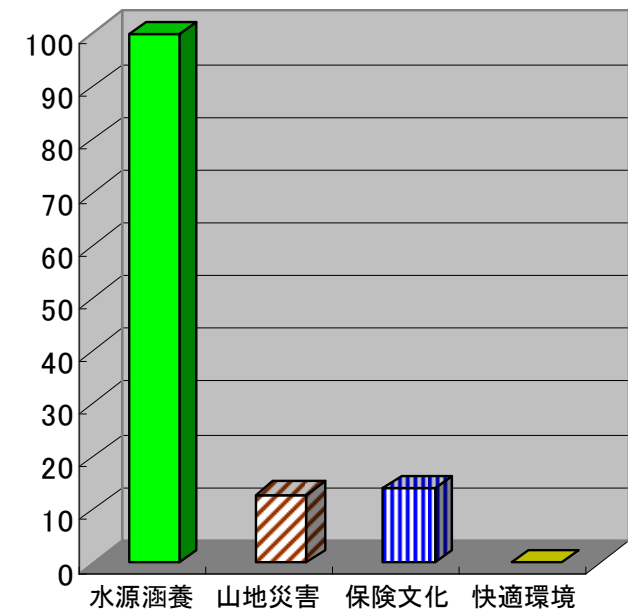
(木材等生産機能維持増進森林)

※国有林では区分しない

● 公益的機能別施業森林ごとの分布



公益的機能別施業森林の割合

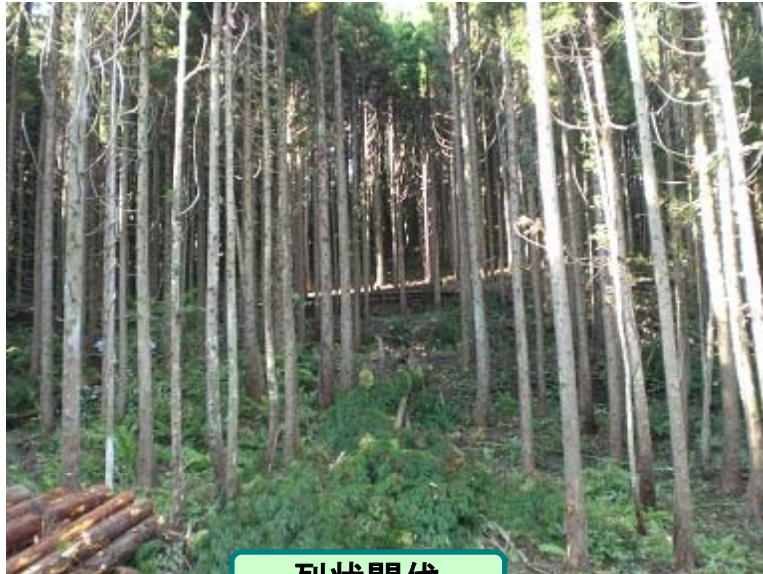


計画区の年平均伐採量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

●年平均伐採量：	計 画	実 績 ※
主伐	70,826 m ³	23,577 m ³
間伐	110,794 m ³	71,972 m ³
合計	181,620 m³	95,549 m³

※ 実績のうち平成24年度分は予定量で計算



列状間伐



高性能林業機械による間伐

● 計画区の更新総量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

●更新総量

計 画

実績 (H21~24年度)

人工造林 : 1, 0 3 6 ha

5 0 7 ha



人工造林

● 計画区のその他の事業量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

● 林道の開設総量

	計画量	実績
・ 新規開設	59,879m	13,080m

● 治山施設数量

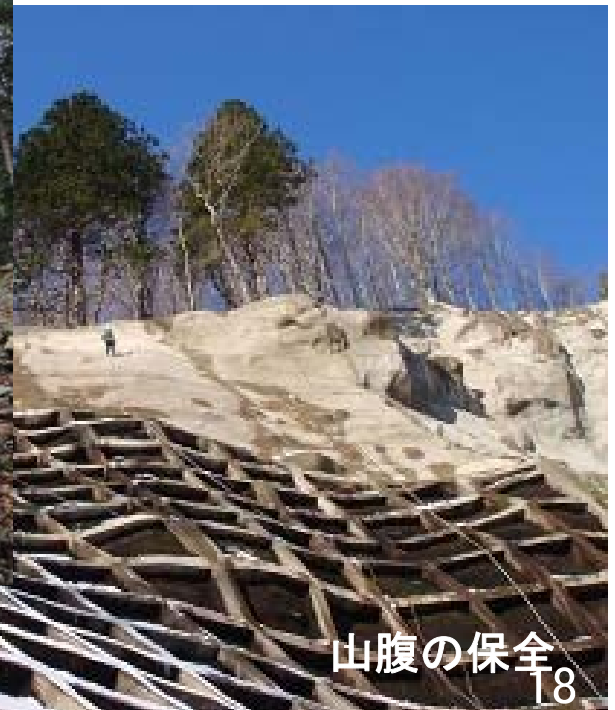
	計画量	実績
・ 保全施設 (溪間工等)	40箇所	25箇所
・ 保安林整備	1,052ha	745ha



林道の開設



治山ダム

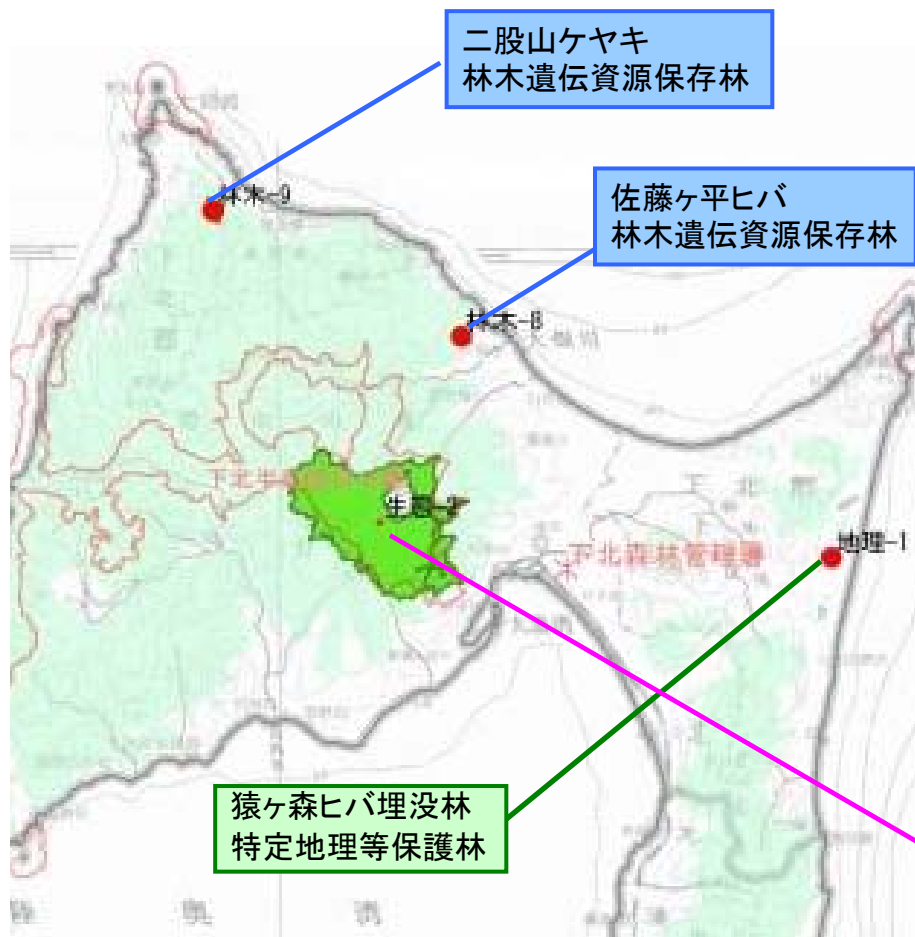


山腹の保全

管内の保護林

●保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に資することを目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、保護を図っている森林



保護林名称	特徴	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	森林生態系・生物遺伝資源の保存、野生動植物の保護を図る森林	1	5,538
林木遺伝資源保存林	主として、林木の遺伝資源を保存する森林	2	43
特定地理等保護林	特異な地形、地質等の保護を図る	1	4



恐山山地森林生態系保護地域

管内のレクリエーションの森

●レクリエーションの森

国民の保健・文化的利用を積極的、計画的に推進するための森林



名称	特徴	箇所数	面積(ha)
自然観察教育林	当該地方の自然を特色付け、小中学校の自然科学教育などに適した地域	2	991

恐山・薬研自然観察教育林



せせらぎの森自然観察教育林

管内の特徴的な取り組み

① 「大畑ヒバ施業実験林」



ヒバの天然林施業を適切に進めるため、大正末期から大規模な調査研究を行い、「ヒバ天然林の施業法」を確立。

この天然林施業法を現地に適用し、継続的に森林の推移に関するデータを取り、その成果を明らかにすること等を目的として、昭和6年に設定され、以来80年にわたり計画的に施業を行っています。

管内の特徴的な取り組み

② 国民参加の森林づくり



育樹祭
(むつ市奥内)



ブナ林再生育樹活動
(佐藤ヶ平)

地域住民、NPOが参加の森林づくりの機会を提供しています。

● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

① 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

●地球温暖化防止対策も含めた森林整備の推進、計画的な木材供給、准フォレスターによる市町村森林整備計画策定の支援等、林業再生に向け取り組みます。



② 豊かな自然環境の保全管理

●当計画区には、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、また希少野生動植物が生息・生育していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その特性に応じた保全管理に努めます。



● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

③ 山地災害の防止

- 山地災害のおそれのある箇所には、適切な治山事業を計画し、下流域の安全・安心の確保に努めます。





国民の森林・国有林

東北森林管理局 下北森林管理署

次代に引き継ぐ国民参加の美しい森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を

ご清聴ありがとうございました。

林野庁 東北森林管理局
下北森林管理署